

第 48 回経営協議会議事録

- I 日 時 平成 23 年 10 月 25 日 (火) 15:00~15:47
- II 会 場 筑波大学筑波キャンパス本部棟 8 階「特別会議室」(茨城県つくば市天王台 1-1-1)
- III 出席者〔学外委員〕
秋元勇巳、岸輝雄、石田瑞穂、大竹美喜、古賀正一、末松安晴、西野虎之介
〔学内委員〕
山田信博、清水一彦、赤平昌文、森本浩一、鈴木久敏、宇川彰、五十嵐徹也、東照雄
〔オブザーバー〕
川那部執行役員(人文社会系長)、白岩執行役員(生命環境系長)、五十殿執行役員(芸術系長)、大高執行役員(人間系長)、金保執行役員(医学医療系長)、植松執行役員(図書館情報メディア系長)、畔上人文・文化学群長、本澤社会・国際学群長、喜多理工学群長、中山情報学群長、大塚医学群長、阿江体育専門学群長、玉川芸術専門学群長、永田学長補佐室長、今井調整官

IV 議 題

〔報 告〕

- (1) 平成 24 年度筑波大学概算要求の概要について ----- [報告 1 資料]
- (2) 平成 22 事業年度財務諸表の承認について ----- [報告 2 資料]
- (3) 平成 23 年度補正予算(第 3 号)について ----- [報告 3 資料]
- (4) 筑波大学アソシエイト制度について ----- [報告 4 資料]
- (5) タイムズ社世界大学ランキング 2011 について ----- [報告 5 資料]
- (6) 第 90 回教育研究評議会報告 ----- [報告 6 資料]

〔部局の活動報告及び意見交換〕

体育専門学群長

V 議 事

冒頭に、学長より陪席している執行役員等の紹介があった。

〔報 告〕

- 1 平成 24 年度筑波大学概算要求の概要について
森本副学長・理事から、報告 1 資料に基づき、平成 24 年度筑波大学概算要求の概要について報告があった。
- 各委員からの主な発言等は以下のとおり。(以下、○は委員の発言、△は本学側の回答)
- 教育研究プロジェクトの「トップリーダーの育成のための教育の高度情報化事業」は、この時代には、リーダーの育成が極めて重要だという趣旨で要求したのか。
- △ 本学附属駒場高等学校を対象に出しているものであり、内容的には図書館の活用も含め、大学との連携の中で、トップリーダーとして備えるべき資質をより伸ばしていこうという趣旨である。
- 10%カットし、その上に要望枠という形であるが、10%カットでも大学が運営できるような形にするのか。
- △ 実際上は、高等教育関係はすべて政策経費ということで 10%カットの対象だが、文科省の中でいろいろやりくりをして、必ずしも運営費交付金が一律 10%カットになっているわけではない。ただ、それに要望枠の部分を加え、それが 2%増というレベルになっている。仕上がりベースで考えると、財源上 7000 億円しかないので、おそらく要望枠は 3 分の 1 ぐらいしか認められないのではないかと推測され、どうしても減になりがちだと思う。さらに公務員

人件費が 7.8%カットという話があるので、全体として見ると非常に厳しい予算になりかねない。10%減では、本当にいわゆる教育研究の基盤的な経費や旅費等の経費削減などの影響が出てくるが、そうならないよう頑張りたい。

2 平成 22 事業年度財務諸表の承認について

森本副学長・理事から、報告 2 資料に基づき、平成 22 事業年度財務諸表の承認について報告があった。

3 平成 23 年度補正予算（第 3 号）について

森本副学長・理事から、報告 3 資料に基づき、平成 23 年度補正予算（第 3 号）について報告があった。

4 筑波大学アソシエイト制度について

鈴木副学長・理事から、報告 4 資料に基づき、筑波大学アソシエイト制度について報告があった。

各委員からの主な発言等は以下のとおり。

○ 筑波大学アソシエイト制度は、タイムリーで非常に重要ではないかと思われる。ぜひ活発におやりいただきたい。

△ 同窓会もちろんこのメンバーに入れるわけだが、同窓会員であると同時にアソシエイトという形になっていただけるようにと思っている。

○ アソシエイトメンバーになると、例えば図書館が使えるとか、そういう特典はあるのか。

△ 図書館の利用のほか、本学のキャンパス交通システムや学内駐車場の利用もできる。

5 タイムズ社世界大学ランキング 2011 について

宇川副学長・理事から、報告 5 資料に基づき、タイムズ社世界大学ランキング 2011 について報告があった。

各委員からの主な発言等は以下のとおり。

○ 大学ランキングについて、研究をされて、分析されているということは、大変良いことである。なお、タイムズ社のランキングだが、これは QS 社と大分違う。QS 社で筑波大学は上がっていて大変うれしいのだが、どちらが信用できるのか。ここではタイムズを一応入れて、ベンチマーキングとして比較しているのか。

△ 論文のインパクトを QS 社は教員当たりの論文引用数で見ている。それに対してタイムズ社は、論文当たりの引用数である。ただタイムズ社の場合には、少数の論文で引用数が非常に高いものがあれば、小さい大学でも高いランキングになることがあり、それは総合大学に不利にならないのかという意見がある。研究者評価は、どういう人たちがピアレビューを行い、どういう基準なのかということが、あまりよく分からない。本来こういうランキングはどういうやり方で、どういう基準で、どういう人たちがピアレビューを行っているとか、そういうところまでオープンにし、ランキングされる側がそのランキングの中身をちゃんと分かって、分析できるようになっていないといけませんが、そういう状況にはなっていない。

6 第 90 回教育研究評議会報告

学長から、報告 6 資料に基づき、前回の本会議以降に開催された、第 90 回の教育研究評議会の議事の概要について報告があった。

以上